

令和5年度

静岡同窓会関東支部 総会・懇親会

2023.7.8



発行人
 静岡県立静岡商業高等学校
 同窓会 関東支部
 (静岡同窓会関東支部)
 〒244-0801
 横浜市戸塚区品濃町 547-1 B501
 TEL. 090-1117-2750

編集
 関東支部広報部会
 令和6年5月28日発行
 (毎年1回・5月発行)
 題字 初代支部長
 湯本克巳氏

第33号



大石倫義支部長

原点は静岡

令和5年度の総会は、7月8日(土)に学生会館で行われ、静岡から駆け付けた23名を含む、男性91名・女性28名、合計119名が総会・懇親会を楽しんだ。3年間のコロナ禍を明けて、総会・懇親会を楽しみにしていたのが、この数字に表れていると思う。

懇親会は美味しい料理にお酒、楽しい企画もあって楽しいものだが、一方、仲間の高齢化が進んで行くのを実感する場面もある。

生まれてから72年、社会人・職業人になって54

年、神奈川県民だった期間が43年、家庭を作った期間が29年、関東支部に關わって22年、社会貢献活動に關わって20年、学生生活が12年、高齢者になって約10年、静岡時代3年、支部長2年、人生には色々な歴史が重なっている。

その中で、思い出とともに今も鮮明に生き続けている期間は、静岡時代の3年間だけだ。

「あの時代は良かった」というと、「楽しいことが多かった」という風聞こえるが、「静岡時代の3年間は良かった」と言う

と、もう少し複雑なものがある。重い3年間、濃い3年間、変化にとんだ3年間とい

っても良い。入学すると、虹の様に輝いていた高校生活の夢

は「応援団による、校歌・応援歌の練習」によって打ち砕かれた。「高校ですごいところだな」と思

って、先が見えなくなっ

た。クラブ活動はそれ以上に不条理な先輩・後輩

関係があった。夢は夢であって、体育部も文化部

も、男子も女子もこの現実

に立ち向かうことが日常だった

が、ここで養った根性と体力がどれほど有益なものであったかを

知るのには、社会人になって後輩を指導する立場になっ

た。その中から。その中にいた時と、過去の事として振り返った

時に、その評価が大きく違

う3年間は他には無いのでは

ないだろうか。専門教育は即戦力にな

ると信じて疑わなかった3年間

。しかし、社会に出ると算盤は電卓に変わり、

パソコン・ワープロ・プリンターにとって変わられた。

理不尽なまでの先輩と後輩の

関係、ユニークな先生と

言うことを聞かない生徒、

大人になりかけの男子と女子の

出会い、こんなぐちゃぐちゃした

学生生活を生きて来て今がある

と思うと、この時代を語らずには

いられない。

さあ、苦しい日々が楽しい

日々だったあの時の静岡の思い出

を持って静岡同窓会関東支部

の総会・懇親会に集まろう

ではないか！

静岡同窓会関東支部

支部長 大石 倫義

令和6年度

関東支部

総会・懇親会

7月6日(土)

都道府県会館

同封の案内チラシ参照



(支部の仲間こんな活動をしています)

人気エッセイ『おじさん図鑑』の著者飛鳥圭介氏は実は同窓生 S 41 年卒坊野秀美さんだった！



S 41 年卒坊野さんは、通信社を経営する傍ら【おじさん図鑑】を 30 年執筆続けているエッセイストです。

東京新聞、中日新聞他の方新聞に連載中で、単行本は再編集して出版したものです。

勤務先の通信社にほど近い喫茶店で同期の小林吉照さんに同席していただき、お話を伺いました。

坊野さんが飛鳥圭介氏と同一人物だと気付いたのは、長年の愛読者である名古屋在住 S 38 年卒の大塚巖さんが R 2 年 7 月掲載の『日本の七五調』というエッセイの中に「おじさんが大昔に卒業した高校の校歌は『波 譜詞を奏すれば・・・』と七五調の典型で今でもソラで歌える」との記事を読んだ時で、感動したと広報部に連絡いただきました。更に S 41 年の同期会が行われた天富のご主人 S 39 年卒の河田さんが飛鳥氏の大ファンとの

話題が出た時に坊野さんが同一人物だと知り、驚きと供に感激したと伺い、おじさん達を魅了するエッセイを紹介したいに至りました。

エッセイを書き続けることについて「自分を世間に知ってもらいたいという欲はなく書きたいことを書いて共感してくれる人がいたらいいなあ」と思っていて続けている。だからこそネタは本物リアリティが大事。おじさんが好きでおじさんの生態と本質を戯画化したかった。新聞は読む人が減り、特にフィラー面が縮小され掲載が減っている。本当はフィラー面こそ必要、若い方には読んで欲しい。生きていれば例外なく年を取る、目をそらすや衰えに学ぶ必要がある。そこから老人への思いや

おじさん図鑑を拝読して感じたことは、思わず笑顔になって気持ちがあほっこりする、毎日の生活の中でこの一瞬が必要だと思いました。皆さんも東京新聞の日曜版を手にとって、ほっこりしましょう。

取材 広報部

齋藤まり子

快挙！エイジシュート達成



「後藤ゴルフ同好会会長の快挙」

ゴルフ同好会の第 72 回コンペ（令和 5 年 7 月 11 日於・中津川カントリークラブ）にて、当会会長の S 38 年卒の後藤忠昭さんが、エイジシュートの快挙を達成致しました。

エイジシュートとは、自己年齢と 1 ラウンドのスコアが同数若しくはそれ以下で廻った場合に言います。

公式には、男性の場合は 6

000 ヤード以上のコースでの達成ですが、中津川カントリークラブの当日の距離は 5290 ヤードと若干短かったのですが、距離の長短を考える事なく、非常に難しい事で有る事には変わり有りません。

世界のトッププロゴルファーでも、30 歳台・40 歳台での達成は物理的に不可能なのです。

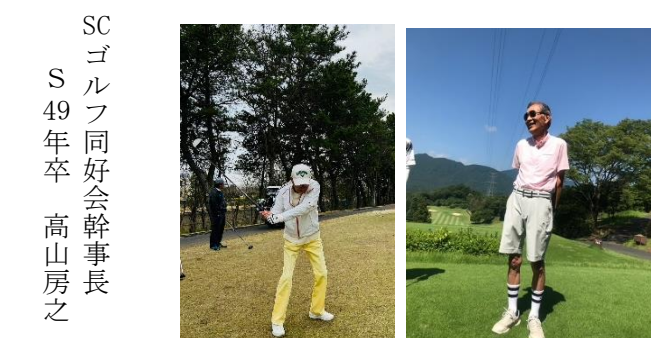
つまり、イーブンパープレアの 72 でラウンドする方であっても 72 歳にならないと、達成できません。

あの世界の青木と言われた青木功選手（現在・日本ゴルフツアー機構会長）が 9 回達成していますが、それだけ難しいスコアなのです。

私（高山）も将来的に達成してみたいと思っておりますが、全然努力が足りていないと実感しています。

歳を重ねれば、重ねる程にスコアが悪くなる事が道理で、同世代の同好会メンバーの平均的なスコアは 100 前後ですから、とてもならない成績だと断言できます。

ちなみに後藤さんの平均は 83.2（過去 36 回分）と、ダントツですので、可



SC ゴルフ同好会幹事長 S 49 年卒 高山房之

「これから年齢を重ねるたびにエイジシュートを達成することを目標にする」と目を輝かせる後藤さん。実現することも夢ではない気がします。

関東支部には活動の根幹を成す4部会(広報部会・組織部会・応援部会・企画部会)と7同好会(テニス・あじさい・ゴルフ・カラオケ・歩く会・美の鑑賞・旨い酒旨い肴を愉しむ会)があります。それではそれぞれの部会・同好会を順にご紹介します。

広報部会

《新生広報部会スタート》

S 48 年卒相川雅美さんから広報部会長を引き継ぎました48年卒齋藤です。



部会メンバーは、41年卒小林吉照さん、48年卒岩城一恵さん、48年卒渡部廣志さん、51年卒中村美保子さんに加え、新たに49年卒内田晃さんを迎え齋藤の6名で今回の33号から編集・発行作業を行いました。

平成29年から6年もの長きに渡り部会長という大役を務めていただいた相川さんには感謝申し上げます。相川さんの後は正直荷が重く感じています。元々、写真を撮ったり、ピバ静商に投稿したりと広報部はやりたいことが詰まっていますので、頼りになる部会メンバーと共に、会報発行に向けて、今まで通り、会員の皆様に楽しい紙面を配信し、関東支部の様子を知っていただけるように、努めてまいります。

会報をご覧になった関東支部会員の方や本部、全国の支部から、毎年楽しみにしています、とのコメントも頂いており、会報編集は中々ハードですので、皆さまからのメッセージが励みになります。これからも感想ご意見いただけたら嬉しいです。そして、まだまだ同窓生の方々の魅力を発見していきたいので皆様からの情報お待ちしております。

「ピバ静商!」では、フェイスブックとブログとで同好会開催報告の他、静商関連情報の発信も行っています。

広報部会 会長
S 48 年卒 齋藤まり子



S49 年卒内田晃



S51 年卒中村美保子



S48 年卒渡部廣志



S48 年卒岩城一恵



S41 年卒小林吉照



編集作業中の様子

組織部会

《支部の基盤固めに向けて》

組織部会では、会員の管理として会員の住所の把握と新規会員の発掘をしています。

新規会員発掘と言うと大げさですが、大事なのは同期の情報ネットワークを通じて関東6県への転入者情報を入手し、会報送付の対象を拡大すること。転入者が居てもなかなか分からないので、年度幹事のアンテナに期待しています。

また、毎年所在が不明で戻って来る会報が30件近くあります。折角の会報と郵送料が無駄になるだけでなく、調査の間もかかるので、卒業年度ごとの会員管理体制の強化をしています。

今回の会報に同封している「届出のお願ひ文書」と「出欠ハガキ」にもご協力ください。

《総会に向けて》

今年の静商同窓会関東支部総会(総会と懇親会)は、開催場所を都道府県会館(千代田区平河町)に変更して7月6日(土)に開催致します。(昨年まで開催の学士会館が、リニューアル工事で利用できなくなりました。)

今年の総会懇親会の運営役員は、昭和45年卒、55年卒、平成2年卒ですが役員人数が少なく、参加を呼び掛けております。関東地区に居住する今年の卒業生の皆さんをはじめ諸先輩方(卒業4年目まで参加費は無料)も、都心の中の清潔感溢れる会場での総会には是非ご参加下さい。

今年、「静商の思い出」を持って集まろう!!」をテーマに懇親会を行います。大いに飲み、語り合いましょう。

《会則の改正に向けて》
そしてもう一つ大きな活動をしています。関東支部の活動を律する会則と規則類の改正活動です。検討をスタートしたのはR5年の総会議案として会則の変更を検討した時です。

本部の会則変更に伴い、影響を受ける条文の変更を検討したところ、他の条文でも改善したい条文がいくつか出てきました。会則は、制定後1回しか改正していませんが、検討委員会を立ち上げて検討すれば良い会則ができるのではないかと考え、既に5回の検討委員会を開催しました。

検討の視点は、左の通り
一、従来の良さを継承する。
一、民主的で分り易い会則。
一、柔軟で時代を反映する。
一、役員活動の指針となる。会則を目指しています。

既に、改正案ができていますが、関連規定との関係に検討を深めてゆきます。

【検討委員会メンバー】
・原顧問(前支部長)
・吉澤常任幹事
(元支部長)

・大石支部長
・相川副支部長
・岩城副支部長
・内田会計監査
・渡部幹事長
・安藤組織部会長

組織部会 会長
S 45 年卒 安藤 俊



応援部会

応援部会は母校の部活動が全国大会等で関東に來た際に関東支部の有志が集まり応援・激励に駆け付けよう！という目的で発足しました。

これまでは硬式野球部の関東遠征・水泳部の全国大会出場・軟式野球部の東京開催団体出場の応援に駆け付けましたが、4年前のコロナ感染拡大により活動の場は制限を受けておりました。

そんな中一昨年の8月情報処理部が全国大会出場を果たし激励する機会が訪れましたが、残念ながら電話で激励するに留まりました。令和5年に入り3月の硬式野球部関東遠征に久しぶりに9名が応援に駆け付け、監督・主将に激励支援金を贈呈しました。そして令和6年に入り久しぶりに「母校硬式野球部監督を囲む会」の開催、3月にはチアリーディング部の全国大会出場の激励と少しずつ活動の場も増えて来ました。少子化により生徒数も減って部活も減っていると聞きますが、

後輩の皆さん頑張つて全国大会を目指して下さい。くに開催されました。



母校「硬式野球部監督を囲む会」は初代応援部会長（硬式野球部ネット会元会長）の故長谷川勉氏（昭和31年卒）の発案で日頃静岡に行つて観戦出来ない関東支部の熱烈静商野球ファンと母校硬式野球部監督との交流の場を設けようと平成24年2月に当時の見城監督をお迎えして第1回を開催しました。

その後毎年開催を重ねて来ましたが令和2年2月高田監督を迎えて開催したのを最後にコロナ感染拡大により中断を余儀なくされましたが、コロナ感染も一段落し4年ぶりに節目の10回目を迎える「監督を囲む会」が令和3年4月に就任された曲田監督をお迎えして令和6年2月24日シーボニア



メンズクラブにて4年ぶりに開催されました。

《曲田監督からの報告》

選手には日頃から野球はもとより卒業してからも役に立つようなことを学んでもらいたいと指導している。またウエイトトレーニングにも時間をかけており体重が平均6キロ増加し体格も良くなった。パワーアップした選手達に期待してもらいたい、と頼もしい言葉がありました。加えて新チームの投手陣を中心とした戦力評価や3年生の卒業後の進路について報告がありました。

《出席者、思い出を語る》

その後、出席者全員から硬式野球部を含めた在学時代の思い出や卒業後のよもやま話がありました。特に在学中それぞれのクラブでの思い出（ほとんどが説教・しごきの辛さでした）に花が咲き、甲子園での応援の思い出等が披露されました。また、出席者の皆さん一様に静商から優良企業に就職出来たことや静商での経験したことや社会生活に大いに役立つと話されていました。

静岡からは曲田監督と望月ネット会会長が出席、関東からは36年卒、49年卒の12名が出席、計14名の出席で定刻の12時ランチ&懇親会はスタートしました。

ました。

《関東支部からの激励》

会もクライマックスに差し掛かり関東支部・応援部会から激励金（低反発バット購入補助金）を曲田監督に贈呈しました。



3年にも及んだコロナ禍騒動で制限された同好会活動も、令和5年度は再開され、各同好会は活況を呈し始めました。

私がかねがね関東同窓会支部の中でも活動の肝は各同好会だと思つており、定期的に催される活動に参加することが、会員にとつて一番身近で、世代を超えて楽しめる交流サークルとなっています。

現在7つある同好会は同窓会メンバーであれば誰でも参加は可能で（あじさいの会だけは女性限定）老若男女いつでも新規参加メンバーを歓迎していきますので、この広報誌をご覧になって興味がある同好会があれば是非静商同窓会・関東支部宛にご連絡下さい。

企画部会

企画部会 会長
S 51年卒 萩原克則

以上が部会の活動となります。

では次にバラエティーに富んだ同好会のご紹介をいたします。

応援部会 会長
S 48年卒 渡部廣志

ゴルフ同好会



静岡商業在学当時はバレーボール部に所属し、永田峰雄先生に鍛えられ岡山国体に出場させていただきました。

永田先生の推薦で、野村證券に入社し何とか定年まで勤めることができました。

さて、今年の冬は2月が温暖化の影響で暖かでしたが3月に入り寒い日が続き桜の開花も2週ほど遅れて3月末に予定した花見ゴルフの期待も裏切られました。

最近の自分のゴルフを振り返ってみますと、毎月回数(3〜4)は多いのですが、昨年の12月にコロナ感染しその後遺症がひどくて体重が激減し、ドライバーの飛距離が180ヤードと惨めな状況となっていました。

飛ばない分OBまで届かずスコアはソコソコで回っておりま。

ゴルフが一番大事なことは、正しい練習を続けることです。間違った練習は下手を固めることです。練習は嘘をつきません。特にここ一番の時、これがものを言います。そしてもう一つ完璧なシ

ヨットはプロでも何回もありません、ましてや我々アマは適当が一番。今年も皆様と楽しいゴルフができればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



ゴルフ同好会 会長 S 38 年卒 後藤忠昭

◆エイジシュートの快挙◆
昨年のSCゴルフ同好会は、雨天中止が2回もあり、日程変更で参加が出来なかったメンバーもいた中、めげずに代替開催し、後藤会長の78歳でスコア78の快挙もあり、楽しく令和5年を締めくくりました。

◆春の珍事◆

令和6年4月3日に開催した取手桜ヶ丘GCも午後からの雨で大事をとってハーフのみで中止とし、今年もスタートから天候には恵まれませんでした。女子に優しいコース、ハーフのみ、ハンデが多いと好条件に恵まれ、S48年卒齋藤が優勝し、参加

者全員が『春の珍事』と驚きました。静岡からS51年卒本部副会長の関原秀夫さんご夫妻も参加され、どんな状況でも「楽しむ」を実践しました。
S 48 年卒 齋藤まり子



■令和5年(2023)6月以降の開催・予定■

- ◆第72回夏 R4.7.11 (火) 中津川CC実施 (令6.2が台風の為延期代替開催)
 - ◆第73回秋 R5.10.14 (土) 房総CC前夜祭開催 R5.10.15 (日) 房総CC悪天候で中止
 - ◆第73回秋リベンジXmas コンペ開催 R5.11.25 (月) 長太郎CC
 - ◆新年会 R6.1.20 (土) シーボニアメムズクラブ
 - ◆第74回春 R6.4.3 (金) 取手桜ヶ丘GC実施 大雨によりハーフのみ
 - ◆第75回秋 R6.10.7 (月) 実施予定 前夜祭あり 場所 未定
- *今年度から夏のコンペは開催なしと決定しました。

テニス同好会



静岡から参加の関原さん(S51卒)と奥様



左から第72回準優勝岩城さん(S48卒) 第73回優勝鈴木さん(S51卒) 第74回優勝齋藤さん(S48卒)

令和5年度テニス同好会は12回開催しました。東京都立亀戸中央公園テニスコートで累計86名の参加者により開催されました。新型コロナウイルス感染症も終息に向かっています。新型コロナウィルスの感染者も終息に向かっています。12月13日には100回記念の開催を致しました。

令和5年度はS38年卒の八木勝司さんが加入されました。在校時代はインターハイに出場されました。会員のレベルアップが期待されます。テニスの経験がない人も大丈夫です。ぜひ、ご参加下さい。アフターテニスも楽しく開催されております。



SCテニス同好会 祝100回記念

日5名にて設立、宗野さんが初代会長に就任され梶山に引継ぎ、以来100回も開催できた事は宗野さんの多大なご尽力の賜物です。長い間ご支援ありがとうございました。

S 32 年卒の宗野治義さんがこれを機に退会されました。平成23年11月6日

■令和5年(2023)5月以降開催■

- ◆第93回 R5.5.17 (水) 亀戸中央公園
- ◆第94回 R5.6.21 (水) 亀戸中央公園
- ◆第95回 R5.7.19 (水) 芝公園
- ◆第96回 R5.8.30 (水) 亀戸中央公園
- ◆第97回 R5.9.20 (水) 亀戸中央公園
- ◆第98回 R5.10.18 (水) 亀戸中央公園
- ◆第99回 R5.11.15 (水) 亀戸中央公園
- ◆第100回 R5.12.15 (水) 亀戸中央公園
- ◆第101回 R6.1.17 (水) 亀戸中央公園
- ◆第102回 R6.3.27 (水) 亀戸中央公園
- ◆第103回 R6.4.17 (水) 亀戸中央公園



H10年発行第7号に掲載されてから27年後の宗野さんテニス歴は40年近くなる



第93回青空のもと集合写真

カラオケ同好会 笑顔に会えた♪

◆カラオケは人生を 楽しむ元気の源◆

カラオケ同好会は、カラオケ好きが集合して28回を数え、29回というところでコロナ禍に見舞われ、令和元年12月にカラオケ忘年会を開催して以来、令和5年12月2日、4年ぶりにシーボニアメンズクラブにて29回を開催することができました。

発足当時はボーリングやお花見や屋形船と一緒に楽しむ春のカラオケと、カラオケのみを楽しむ12月のカラオケ忘年会を開催してしました。

17回からは、年に1回12月第2土曜日に年忘れカラオケ大会と銘うち、51年卒の演歌歌手、川守宏さんに審査員をお願いし、チーム対抗や個人戦を競い、カラオケ熱に拍車をかけていますが本来の目的は競うことではなく、年代を超え歌の上手い下手ではなく、如何に歌と人生を楽しみむかをモットーとしています。

老若男女問わず歌で繋がるカラオケは、心身に健康効果をもたらすと言わ

れ、ストレス解消新陳代謝が良くなり血管と内臓を浄化し若返りと認知症予防にもなると良いこと満載です。
「健康につながる趣味を見つけた」「カラオケを健康的に楽しみたい」という方はもちろん「仲間と歌うのが好き」という方も是非、カラオケ同好会にご参加ください。

◆4年ぶりの カラオケ同好会◆



参加人数は例年より少ない15名でしたが、静岡からプロ歌手のS51年卒川守宏さんと同じくS51年卒本部副会長の関原秀夫さんが駆けつけてくださり、一段と盛り上がりました。今回も川守さんの審査で団体戦のみで勝敗を競いましたが、皆さん甲乙つ

けがたい、のど自慢ぞろいで審査員の川守さんを悩ませました。
途中S38年卒の吉澤さん、杉本さんが、過去上位常連の亡くなられた同期の鈴木一晴さん、亀山邦彦さん、山本文雄さんをおつと歌うとおっしゃったときは涙を誘いました。

最年長はS34年卒の戸井さんと小長井さん、80歳を超えても尚、素晴らしい声を披露して下さい、団体優勝を牽引してくれました。小長井さんは詩吟も披露してくれました。

来年は川守さんとデュエットしたいと手をあげる人続出で、また元気で会いましょうと散会しました。

カラオケ同好会 会長
S48年卒 齋藤まり子



同好会 SCあじさい

発足から7年が経ち、女子会として恒例化されたSCあじさいは、非日常感を味わいながら、新しい発見を楽しんでいます。年4回、都内近郊の様々な場所と一緒に楽しみ世代を越えた仲間とのふれあいが喜びです。

令和5年はコロナウィルス感染もある程度落ち着いた事もあり、4月には府中の東京競馬場に繰り出し、同窓会関東支部30周年記念企画の補助金一人千円を利用して馬券を買い、3年前に中止になった「わくわく観戦」に再チャレンジすることができました。



東京競馬場「わくわく」観戦

ネガティブなイメージの競馬場でしたが、心から楽しめるテーマパークと認識を改め、スポーツとギ

ャンブルの融合した魅力を味わいながら大いに盛り上がり、騎手と競争馬達にも感動した回となりました。



SCあじさいの原点
あじさい鑑賞
高幡不動尊散策

6月は「SCあじさい」命名時の初心を思い起こし、日野市のあじさいの名所「高幡不動尊」を訪れ、あじさい鑑賞をしながら境内を散策しました。美しい庭園のお茶室では、お抹茶のおもてなしを体験して素敵なお時間を過ごしました。



銀座に集合・歌舞伎座見

9月には銀座に集い無料で楽しめる新しい観光スポットを巡り、歌舞伎座では朱色の五右衛門階段

から歌舞伎座の立派な大屋根を眺めて「絶景かな、絶景かな」を思い起こし、見つけると幸せになれるとうわさがある「逆さ鳳凰」を探し童心に返りました。11月はエレガントな魅力溢れる白金台を満喫。都立庭園美術館では「装飾の庭、朝香宮邸のオールデコと庭園芸術」展を観賞し、昭和モダンでハイカルチャーの雰囲気に取り込まれました。

次に向かった八芳園では趣のある日本庭園の紅葉を楽しみ、カフェではちよつとリッチな気分であったり談笑できました。



八芳園で秋を楽しむ

こんな感じでもとても充実した一年でした。また主婦ならではの目利きで、毎回お手頃価格の美味しいランチのお店を見つけ、さやかな幸せを味わっています。四方山話の気楽なおしゃべりで日頃のストレス解消。気分転換は健康効果があるようです。同窓のよしみです。

「一緒に出かけましょう」

SCあじさい 会長
S43年卒 岡本朗子

同好会 歩く会



秋

歴史と未来、 そして坂の町横浜

昨年(2023)の10月27日、横浜山手駅に14名が集合し、意気揚々とスタートしました。

歩き始めてすぐに上り坂、そしてさらに角度アップの上り坂と続き、息切を切らしながらまずは根岸森林公園で小休止。

次に向かった山手公園は明治3年に作られた日本初の洋式公園で、公園内にはテニス発祥記念館があり、当時のラケットやドレスのようなテニスウェアなどが展示されています。さらに館内では「初代君が代」が流れており、私たちが普段歌っている君が代とは歌詞は同じでもメロディーが違う、その歴史的な背景の話も興味深いものでした。

山手公園で持参した軽食を取り、その後は横浜観光定番の外人墓地、港の見える公園、山下公園まで歩き、最後は2年前にできた横浜工



38年卒の皆さん集合

アキヤビン(ロープウェイ)でみなとみらいを空中散歩しながら桜木町駅に辿り着きました。2万2千歩、頑張りました。

その後、お待ちかねの懇親会は野毛の町中華、疲れをしつかりと癒してから帰路につきましました。

春

ひと足先に桜みつけ

3月29日、当初はクルージングで隅田川から満開の桜を眺め、さらに日本橋界隈の桜並木通りを歩いて門前仲町駅までと言う贅沢なお花見会の予定でしたが、悪天候の為2日前にクルーズ船の欠航が決まり、そもそも桜の開花が遅れていてお花見どころではなさそうです。延期や中止も含め難しい決断でしたが当日の天候は昼から劇的に回復するという予報を信じて開催に至りました。

参加者12名が11時に両国駅に集合した時にはまだ雨が降っていたので、まずは新日本橋駅に移動し地下道を歩き貨幣博物館に入りま

した。入口で空港のような荷物チェックを受け、古代お

お金から7月に発行される新紙幣までの展示や1億円の重さを体感したり、じっくり見学でできました

その後、甘酒横丁、小網神社を通り、水天宮横で人形焼きを買っている頃にはすっかり青空になっていました。



枝の先端にほんの2、3輪咲いている桜を見つけては大いに喜び、陽光(ヨウコウ)という品種の桜が早咲きで色鮮やかに咲いていたので記念写真も撮りました。こんなお花見でしたが人混みも無くゆったりと話しながら、休みながら、ゴールの門前仲町駅に到着しました。

S 51 年卒 中村美保子
歩く会 会長

同好会 旨い酒と旨い肴を 愉しむ会



◆3年ぶりの開催◆

ここ2〜3年、コロナ禍の影響により、例会の開催中止を余儀なくされてきたが、行政の対応が変化し、諸活動への制約的な影響が少なくなってきた。

そこで、皆様方に喜んで頂くため、東京森下のもつ煮込みで名高い老舗名酒場の「山利喜」で開催する運びとなり、11月25日(土)、総勢15名(男11名、女性4名)が午後4時半に集合した。

「乾杯」の音頭で看板メニューの「もつ煮込み」「やきとん」のほか、自家製燻製盛り合わせやグリーンソーラダ、ポテトチーズなどを肴に生ビール、日本酒(磯自慢等)、焼酎などで喉を潤した。



驚きの絶品もつ煮込みに大満足

特に、飴色に煮込まれた濃厚なもつ煮込みは、新鮮な「もつ(シロとギアラ)」のみを使用し、それに関西のどて焼きをイメージして豆味噌を使いブーケガルニや赤ワインを加えたフランススタイルのハイブリット煮込みで、参加者からは、「トロトロ、アツアツのもつ煮込みを美味しく食べた」とか、「もつ煮込みのつゆをフランスパンのガーリックトーストにつけて、トースト2枚3枚と続けて堪能した」との声が聞かれた。また、やきとんも種類(たん、はつ、かしら、しる、れば、軟骨等)が多く、「久しぶりにお腹いっぱい食べた」との声も聞かれた。会の話は、何といつても



行列のできる人気店「山利喜」の前で

大相撲九州場所の優勝が懸かる二敗同士の熱海富士と霧島の対戦がどうなるのか、とか、Jリーグ、ゴルフ、メジャーリーグなどかなりの盛り上がりを見せ、予定の2時間があつと云う間もなく経過。最後に締め言葉の中で、来年2月頃の再会を約束して散会。

旨い酒と旨い肴を
愉しむ会 会長
S 38 年卒 杉本博行

同好会 美の観賞会



■二つの宝■

令和5年7月8日の静商同窓会関東支部の懇親会は記念すべき会となった。静商は文武両道において実績のある学校である。近年は芸術

面に重点を置いて、優れた先輩たちの作品を展示する「かえるの部屋」は、ますます充実してきていることである。

今回の懇親会では二つの宝が生まれた。一つは音楽の分野で「田町7丁目90番地」という歌である。昭和54年卒の懇親会運営幹事の作詞作曲となっている。青春と夢と恋が語られていて、思わず胸が熱くなる歌である。今後の懇親会で、永く歌い続けて行きたい曲である。

もう一つは書道の分野である。平成7年卒の岩科蓮花さんの大きな筆で白龍と書いたパフォーマンスは素晴らしいが、昨年の会報に掲載されていた「屏風土代(小野道風)」の書に感銘を受けた。端正で力強い作品である。これから書道家としてますます活躍されることであらう。



美の観賞会 会長
S 35 年卒 秋山卓夫

同好会では企画を練って皆様のご参加をお待ちしています。

懇親会

二大パフォーマンス

令和 5 年 7 月に開催された静商関東支部総会懇親会では、同窓生の記憶に残る、語り継がれるであろうパフォーマンスが行われました

書家 岩科蓮花さん

H7 年卒

書道パフォーマンス

令和 5 年 7 月の懇親会で会場を大きく沸かした書道パフォーマンスがあったことは記憶に新しいことだと思います。関東で活動している同窓生（H7 年卒）の書家、岩科蓮花さんが快く引き受けて下さり、静商に因んだ「白龍」の文字を大きな掛け軸に書いてくれたのです。書き終わって大きな掛け軸を持ち上げた時の歓声は忘れられません。そして、その書が母校に寄贈されることになり、喜びもひとしおです。岩科さんの益々のご活躍を期待し、応援していきたいと思えます。

岩科さんからメッセージをいただきました。

夏の同窓会では大変有意義な時間を過ごすことができました。想像していた以上にスケールが大きく、内容もバラエティに富んでおり、改めて皆さんの結束の強さと静商愛を感じた次第です。磯自慢はじめ静岡の地酒が揃っており、また、とれたての桜えび・しらす・黒はんぺんと、まさに私の好きなものオンパレードでしたので、このあとに書道パフォーマンスが控えているということも忘れるほどに、しばらくぶりの故郷の味に舌鼓を打っておりました。

そんな中でのパフォーマンス



パフォーマンスの様子をプロジェクターに映す

披露でしたので、もしかしたら、ほんのり赤ら顔の「白龍」になったかもしれませぬ・・・(笑)

さて、同窓会事務局のお力添えで、この掛け軸が静商に飾られることになり、3月4日（月）関東支部・支部長の石倫義さんとともに、寄贈式を兼ねて母校に行つて参りましたのでここに報告したいと思えます。

久しぶりに訪れた静商は校舎の中がいくぶん変わっており、現在は1学年6クラス制ということで、北館（教室棟）は2〜4階が教室で、1階は『生徒ホール』という広々としたイベントスペースに変わっております。

そこに「白」「龍」二幅の掛け軸を飾っていただくことにしたのですが、まるで事前にならぬように掛け軸のサイズがぴったりで、吉原隆校長と宋あみ子教頭とともに「偶

然とはいえ、びつくりですね！」と驚きながら記念写真を撮ってきました。

向かいには同じ蒲原出身の久保田利伸さんのポスターが飾られており、少しでも同郷の先輩に近づけたようで大変嬉しく思いました。



母校に寄贈 イベントスペースに展示

生徒たちの見本になれるよう、もつと頑張ろうとあらためて感じました。

これからもお世話になることが多いかと存じますが、何卒よろしくお願ひします。

H7 年卒 岩科蓮花

【お知らせ】

- ◆ 静岡エコパアリーナにて看板を揮毫しました。常設展示されていますのでお越しの際はご覧いただければ幸いです。
- ◆ 渋谷ヒカリエにて作品展（グループ展）開催予定

静商同窓会関東支部懇親会イメージソング 「田町7丁目90番地」 作詞・作曲 静商同窓会関東支部 令和5年度懇親会運営役員

安倍川の畔に佇み 青き日々を想う
友と歌い共に叫び 肩叩き合いはしゃいだ
今も元気であるだろうか いくつもの笑顔が浮かぶ
友と走り共に競い 初めて本気で涙した未熟でもデカイ希望が そこに確かにあった
*Wo~ 田町7丁目90番地
オイラの原点がそこにある
遠く富士山を望みて 遥か故郷（ふるさと）を想う
友と語り共に笑い 初めて本気で恋をした
半端でも熱き夢を そこで確かめ合った
*繰り返し
わずか三年（みとせ）の絆なれど かけがえなき我が青春の日々
偉人の事跡（あと）も偲ばれて 若き血潮ぞ滾りくる
*繰り返し
（リフレイン）
Forever 静商 Forever 静商

矢部正志さん

S54 年卒

イメージソング作詞作曲 『田町7丁目90番地』

中で息づいており、シンボリックなものが欲しいと歌を作るに至ったそうです。

題名の「田町7丁目90番地」は、ご存知我が母校、静商の住所で、まさに私達にピッタリはまる歌詞と曲調になりました。

矢部さんの想いを受け、SC 関東支部のテーマソングとして歌い繋いでいこうと誓いました



歌唱披露中の矢部さん

令和5年の総会懇親会の運営役員の矢部さんは元自衛隊の音楽隊でトランペットを演奏し、令和の天皇陛下の即位他、多くの皇室の記念行事に参加され退官まで音楽一筋、ご自分で作詞作曲もされる音楽マスターです。

今回のサブテーマ「私の原点」という言葉は矢部さんの記事 広報部



**喜寿を記念して
初めての関東支部
同期会旅行**

S 40 年卒 原初典

40 年卒は喜寿にして初めての関東支部同期会旅行を開催しました。

コロナ禍が下火になり 5 月 8 日からの 5 類移行に合わせて、3 月下旬から準備にあたりました。77 歳にて始める旅行に付、案内の効率化を勘案し 60 歳以降 1 回以上関東支部の年会費を納めている 26 名に絞って案内状を発信し総

会出席者の半分位の参加を期待しましたが残念ながら参加の返事は期待値の約半分の 6 名でした。

さて、旅行先は熱海か伊東の 2 案がありました。公共機関を利用して 2 日間楽しめるとの観点から伊東温泉としました。

当日は 2 時に伊東駅に集合、総会や同好会で馴染みのメンバーですが 3 年振りにお会いする人もいて、一瞬間の判らない出会いの人もあり、3 年のブラントの大きさを痛感しました。



お酒と乾きもので第 1 回旅行会を祝し一足早く乾杯しました。

その後、ホテルの海鮮バイクング料理を肴に旨い酒で喜寿を祝い、再び部屋に戻り、二次会を開催しました。

二次会は参加者全員に 20 分スピーチと称して、高校生時代の昔話から社会人時代の思い出、退職後の暮らし等を話してもらい、それを肴に夜更けまで夢中に話し、予約したカラオケをキャンセルする程二次会は盛り上がりました。

某氏は飲んだ酒以上に会話を夢中になり、すっかりアルコールが飛んで翌朝爽快との事でした。

まずはホテルにチェックインし、「東海館」(著名人が常駐した歴史的建築物)「東郷記念館」「伊東港」を散策後ホテルに戻り、ゆったり温泉につかりました。しかし夕食までの 1 時間待ちを待たせられず、持参した



2 日目は伊東駅からバスで約 1 時間掛けて大室山散策に出掛けました。リ



来宮神社 『大楠』
樹齢 2100 年以上のパワースポット

**20 回を迎えた
湯けむり研究会**

S 42 年卒 高塚年明

昨年 11 月 26 日(日)・27 日(月)の両日、3 年ぶりに同期の旅行会「湯けむり研究会」が開催されました。

伊豆半島の東海岸、西海岸、南の下田そして中部の天城・嵯峨沢・修善寺と、ほぼ全域を制覇しています。

しかし、我々も 75 歳後期の高齢者ともなると、誰しも肩・背中・腰・膝・足首など、どこかに痛みをかかえているものです。そうなる

そこで、関東と静岡の間点で、なお且つなるべく歩かない、となると箱根湯本あたりがベストとなります。湯本も数回利用しました。ところが、最近の物価高のせい、箱根周辺の宿泊は比較的料金が高いのです。そこで今回は、熱海駅から徒歩 10 分で私の特権で割引のきく同ホテルを再度利用することになりました。

課題もあります。熱海は昼食が問題なのです。お昼前後に熱海駅集合となりますと、食堂・レストランのキャパをはるかに超える

3 年のプランは「コロナ禍」によるものです。参加して大人数での食事となるメンバーは男女 15 名お宿は「KKR ホテル熱海」です。

同ホテルは、国家公務員共済組合が運営するホテルで 18 年前にも利用していません。20 回開催の間には、伊豆半島の東海岸、西海岸、南の下田そして中部の天城・嵯峨沢・修善寺と、ほぼ全域を制覇しています。

しかし、我々も 75 歳後期の高齢者ともなると、誰しも肩・背中・腰・膝・足首など、どこかに痛みをかかえているものです。そうなる

湯けむり研究会



先日の来宮神社に向かいました。この神社の魅力は何と言っても『大楠』です。樹齢はなんと 2100 年以上のことです。日本屈指のパワースポットです。全員がパワーをいただき、来年も元気に参加することを誓いました。

翌日は、熱海駅から一駅先の来宮神社に向かいました。この神社の魅力は何と言っても『大楠』です。樹齢はなんと 2100 年以上のことです。日本屈指のパワースポットです。全員がパワーをいただき、来年も元気に参加することを誓いました。

ライン活用で 全員集合!

S43年卒 橋みちよ

厳しい夏の暑さを忘れて10月の末、43年同期会は三浦海岸近くの「まほろばマインズ三浦」というホテルに一泊旅行をしました。



便利な物が色々出てきます、ラインと言うのが日常生活にシラツと入って来て、もう無くてはならないものになりました。私たちもライングループを作つて、提案したり、希望などラインで発信して決めました。学年全体を考えたらまだ限られた人数ですが、これを見た同期生がライングループに参加してくれたら嬉しいです。

またラインでは発信した人の気持ちばかりやなく、時間をあまりかけないで決められたと思えます。



今回は男4人、女8人の計12名が参加しました。集合は午後4時ホテルのロビーです。三笠公園に寄つてから来た人もいました。チェックインを済ませたら、早速お風呂に入って夕飯まで寛ぎました。海の幸をふんだんに使った、和食のコースを頂きながら順番に短いスピーチをしました。久しぶりに会った友の近況に皆熱心に耳を傾けました。夕食後は女子用の寝室になる広い和室に集まり皆で遅くまでゲームをしたり歓談をしたりして楽しく過ごしました。翌日は朝食を済ませ、北鎌倉にある円覚寺や明月院などのお寺を見学しました。お天気が良く遠足の

子供たちや外国からのお客様でいっぱいです。境内はどこも綺麗になつていて流石は鎌倉のお寺です。拝観料はどちらのお寺も500円、見たところ現金でしか支払いができません。最近ではキャッシュレスが多くなつてるのでお寺でもそうしてもらつたら便利かもしれません。昼食を済ませ、小町通りに向かいました。小さなお店がいっぱいあつて楽しいですよ。小町通りをちよつと入った所に鐘



木清方記念美術館がありまます。そこは鐘木清方の住まいだったとのこと、入場料は何と300円で本当にお得です。展示されている絵もすばらしく、小町道へ行く機会がありましたら、ぜひ鐘木清方記念美術館を訪れるようお勧めします。

記念すべき日に 同期会開催

S49年卒 醍醐寧子

12月15日、49年会が開催されました。その日はなんと、大谷選手がドジャース入団の記者会見当日、そして内田君のお孫さんが誕生した記念すべき日でした。

私はコロナ以来4年ぶり、いやもつと久しぶりの参加です。高田馬場にある小料理屋「ひさご」へ意気揚々と向かいましたが、迷子になつてしまい、SOSを出してお店の前まで迎えてもらうことに。慌ただしいスタートとなつてしまいましたが、おいしい刺身とつまみに話ははずみ、大谷君の話から静商野球部の話など出てきました。68年間生きてきて、

たった3年間しかない高校時代なのに皆と話すことは尽きることがないの、不思議なものです。そして、70歳の節目にはもつと盛大にやろう!



二次会はお決まりの静岡おでんのお店で「黒はんぺん」。するとまたまた隣に座っていたカッブルのお客さんに「静岡商業っていいですね」と言われ、いい気分が帰宅し、改めて静岡愛を確認できた心残る日でした。

てんぷら
天富

品川区大崎3-5-2 JR大崎駅
エステージ大崎107 西口徒歩3分
電話 03-3779-3895

土曜・日曜・祭日定休
営業時間 ランチ 11:30~13:30
夕食 17:30~21:00

河田 正勝(S39年卒)

 **株式会社 鈴木塗装工務店**

<http://www.suzukitosou.com>

取締役会長 鈴木 守(S37年卒)

51年七夕会

◆川守宏君
歌手デビュー
35周年お祝い◆



35周年記念トロフィー贈呈

4年振りに行われた懇親会で、長年同窓会活動でお世話になっていた我が同期が誇る演歌歌手川守宏君に何か報いたいと、同期常任幹事昭和51年卒の中村さんと中島さんと相談し、総会当日に歌手デビュー35周年のクリスタルトロフィーを贈ることにした。川守君にはカラオケ同好会の忘年会で長年、審査員をお願いしている事もあり、カラオケ同好会からも援助金を頂いた。

懇親会のメインイベントは奇しくも「懐かしの昭和歌謡コーナー」。川守君にはまた人肌脱いでもらい、35周年記念で発売され

た「男と女の交差点」を平成元年卒の天笠さんとデュエットし大好評。その後齋藤まり子さんと中村美保子さんから記念のトロフィーをプレゼント。本人も記念のトロフィーを貰ったのは初めてで感激してくれたようだ。40周年、50周年とこれからも歌手として頑張つて欲しい。

◆4年ぶりの同期会◆

今年1月17日にこれまた4年振りとなる同期会(関東七夕会)を実施した。同期中村さんがラインのアプリを使って同期を勧誘し、女性2名(中村、中島)男性5名(鈴木、萩原、大井、山本)(以上敬称略)の7名が48年卒の先輩から教えて貰った神保町の鮎創作料理店「シビ」に集まった。男性の大井君と山本君は同期会に参加するのは初めてで、全員の

自己紹介の後は懐かしい高校時代の話題で盛り上がり、新たな仲間を加えて楽しい宴となった。5年前に運営役員を引き受けたことで、最初は1人で集めた同期メンバーだが、新しいメンバーも含めて、皆がまだ未知の関東在住同期に声をかければ、同期の輪は益々広がっていくことになる。高校時代は会話しな



同期の仲間をもっともっと増やしたい



シビは焼津出身の店主が営む同窓生が集う店、R6.2借1.くも開店

S 51年卒 萩原克則

同期で集まろう!



さい。または左のQRコードにアクセスしても同様の操作が出来ます。

同窓会の活性化は
気の合った仲間同士の
同期会から!

関東支部では初めて開催した同期会に対して初回に限り一人当たり千円を補助金として支給しています。

この制度を利用して是非同期会を開いてみませんか?

ここでは補助金請求の流れをご案内します。

一、同期会代表者は同期会開催後、関東支部のホームページにアクセスし (seisho-kanto-dsk.com) 連絡ページに必要事項を入力して送信して下さい。

二、関東支部・組織部会の担当者は送信いただいた代表宛に補助金の概要説明し「補助金請求書」用紙を郵便・FAX・電子メール、いずれかの方法で送付します。

三、同期会代表者は受領した「補助金請求書」に必要な事項を記載し、組織部会・担当者に郵便・FAX・電子メール、いずれかの方法で返信をして下さい。

四、組織部会・担当者は「補助金請求諸」の内容を確認後、組織部会長経由にて会計担当者に回付する。

五、会計担当者は同期会代表者指定口座に補助金を振り込む。

以上が請求の流れですが、同期会開催代表者の方に

お願いがあります。

同期会開催時の楽しい模様を会報で紹介をしたいと思えます。

ご面倒ですが、同期会の模様を4〜500字程度にまとめスナップ写真・集合写真とともに組織部会担当者宛に送付をお願いします。

同窓会活動を盛り上げるために会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

組織部会 会長
S 45年卒 安藤 俊

印刷工房

〒234-0054 横浜市港南区港南台1-16-5-101
TEL&FAX 045-835-0421
eメール insatukobo@nifty.com
小林吉照 (昭和41年卒業)

静岡同窓会関東支部役員名簿(敬称略)

令和6年5月28日現在

役職名	卒年	氏名	住所略
顧問	昭和40年	原 初典	町田市
支部長	昭和45年	大石 倫義	横浜市戸塚区
副支部長	昭和48年	相川 雅美	横浜市戸塚区
		岩城 一恵	世田谷区
幹事長	昭和48年	渡部 廣志	佐倉市
副幹事長	昭和51年	萩原 克則	入間市
会計	昭和43年	岩下 喜美枝	横浜市南区
会計監査	昭和49年	高山 房之	市川市
		内田 晃	さいたま市
常任幹事	昭和35年	秋山 卓男	柏市
	昭和38年	吉澤 英夫	大田区
	昭和41年	小林 吉照	横浜市港南区
	昭和43年	岡本 朗子	船橋市
	昭和44年	的野 典子	船橋市
	昭和45年	安藤 俊	春日部市
	昭和48年	齋藤 まり子	江戸川区
	昭和51年	中島 裕子	鶴ヶ島市
		中村 美保子	横浜市港北区
	昭和54年	矢部 正志	川口市
平成6年	若尾 剛志	練馬区	
幹事	昭和29年	永井 賢雄	さいたま市
	昭和30年	古井 陸志	立川市
		石貝 晃司	横浜市保土ヶ谷区
	昭和32年	宗野 治義	港区
	昭和33年	曾我 和善	杉並区
	昭和34年	小長井 武夫	渋谷区
	昭和35年	中川 明巳	練馬区
	昭和36年	平井 幸雄	八王子市
	昭和37年	増田 数茂	横須賀市
	昭和38年	梶山 恭一	西東京市
		後藤 忠昭	浦安市
		杉本 博行	足立区
	昭和39年	青柳 秀雄	海老名市
		川崎 衛	府中市

役職名	卒年	氏名	住所略
幹事	昭和40年	須川 福男	鎌倉市
		神谷 雅男	佐倉市
		小早川 宏	松戸市
		神山 孝	さいたま市
	昭和42年	小林 幸義	松戸市
		高塚 年明	藤枝市
	昭和43年	林 和義	東久留米市
		瀧浪 利信	川崎市麻生区
	昭和44年	長山 静枝	柏市
		木村 雅美	横浜市金沢区
	昭和45年	山口 千江	柏市
		土屋 重和	習志野市
	昭和46年	岡島 治樹	横浜市戸塚区
	昭和47年	馬淵 興二	川口市
	昭和48年	青島 正一	印西市
		富井 商之	川崎市麻生区
		青木 洋一	品川区
	昭和49年	根岸 巖	さいたま市
	昭和50年	杉本 幸雄	練馬区
	昭和51年	井上 真理子	川崎市麻生区
		中平 整子	中野区
	昭和52年	本間 邦子	千葉市美浜区
		富田 弘行	台東区
	昭和53年	熊谷 美智男	三鷹市
	昭和56年	高柳 佐和美	国分寺市
	昭和57年	石井 徹	横浜市保土ヶ谷区
	昭和58年	田中 彰二	横浜市神奈川区
		川田 彰子	大田区
平成 1年	天笠 律津子	綾瀬市	
平成 6年	浦田 輝	台東区	
平成 7年	芦澤 洋介	藤沢市	
平成12年	村松 太一	野田市	
平成16年	李 慎	港区	

令和5年度決算 会計報告及び会計監査報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

1. 一般会計

区分	項目	金額	
収入の部	前期繰越金	1,401,169	
	本年度収入	総会会費等収入	928,738
		年会費	532,000
		寄付金	472,000
		本部助成金	0
		広告収入	40,000
		預金利息	3,139
		雑収入	0
合計	1,975,877		
支出の部	合計	3,377,046	
	本年度支出	総会費用	1,398,991
		会報発行費	202,988
		専門部会活動費	141,280
		同期会補助金	0
		会議費	216,280
		運営諸経費	298,609
		30周年事業費	19,275
		小計	2,277,423
	支部基金組入	0	
次期繰越金	1,099,623		
合計	3,377,046		

2. 支部基金会計

	項目	金額
支部基金	前年度末残高	4,400,000
	本年組入額	0
	本年度末残高	4,400,000

3. 財産目録

	項目	金額
三井住友銀行	支部基金	4,400,000
		887,671
ゆうちょ銀行	次期繰越金	181,336
手元現金		30,616
合計		5,499,623

上記の通り、報告します。

令和6年4月20日

静岡同窓会関東支部

会計

岩下 喜美枝



令和5年度 会計監査報告

監査の結果、上記の報告に相違なく適正であることを認めます。

令和6年4月20日

静岡同窓会関東支部

会計監査

高山 房之



会計監査

内田 晃



会費・寄付等納入者御芳名

(敬称略:順不同、単位千円)

会員の皆様の暖かいご支援ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。令和6年3月までに納入頂いた方々のご芳名を下記のとおりご報告申し上げます。作成に当たっては、誤字、記載漏れのないよう注意しておりますが、万一不手際が有りました場合は深くお詫び申し上げます。

(注)氏名の右*印は令和5年度の総会出席者を示します。

Table with columns for graduation year (卒年), name (氏名), and amount (金額). It lists members from 昭和24年 to 昭和35年 across multiple columns.

会費・寄付金合計
268人・1,004,000円
(会費532・寄付472)

静商同窓会関東支部の最新情報をお届けします

パソコンで検索するなら

Search boxes for '静商同窓会関東支部' and 'ビバ静商!' with '検索' buttons.

スマホ・携帯から直接アクセス

関東支部 HP



facebook ビバ静商!



ブログ ビバ静商!



会報1号~32号まで、国会図書館でも閲覧できます。閲覧IDコード 89238